# 岐阜市
# 洪水ハザードマップ（長良川）
## 東部版

平成31年3月作成

## 災害時の我が家のルール

### わが家の避難場所（家族で話し合って避難する場所を決めておきましょう。）

| 施設名 | 備考 |
|---|---|
| **私の地域で優先して開設される避難場所は**<br>**です。** | 水害のおそれのある場合は、各地域の拠点となる地区公民館又は小学校を優先して開放します。公民館又は小学校の名称を記載ください。 |
| **上記の他に近隣の高い建物は**<br>**です。** | |

◆ わが家の避難時のルール

**わが家では　　　　　　　　ときに　　　　　　　　へ避難します。**

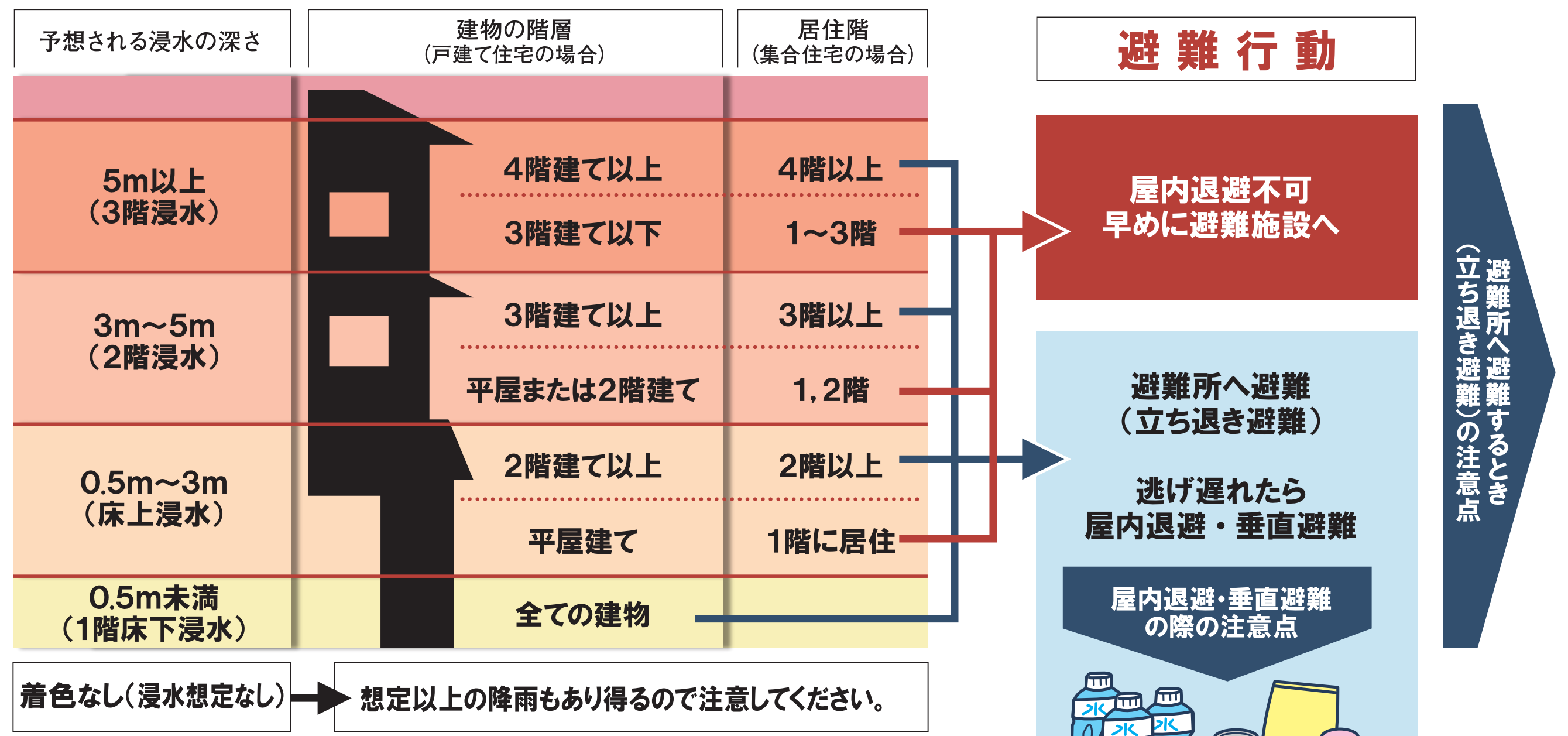
例：避難勧告が発令された　　　例：○○公民館

**避難場所までの避難経路を裏面のマップに書き込んでおきましょう。**

## あなたに必要な避難行動は？

### 建物の浸水想定深は

予想される浸水の深さ、お住まいの建物の高さによって、必要な避難行動に違いがあります。自分に必要な避難行動を知っておきましょう。

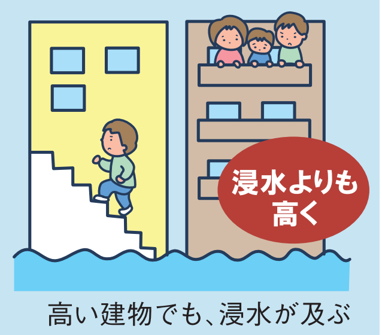


| 予想される浸水の深さ | 建物の階層（戸建て住宅の場合） | 居住階（集合住宅の場合） | 避難行動 |
|---|---|---|---|
| 5m以上（3階浸水） | 4階建て以上 | 4階以上 | 避難所へ避難（立ち退き避難）<br>逃げ遅れたら屋内退避・垂直避難 |
| | 3階建て以下 | 1〜3階 | 屋内退避不可 早めに避難施設へ |
| 3m〜5m（2階浸水） | 3階建て以上 | 3階以上 | 避難所へ避難（立ち退き避難）<br>逃げ遅れたら屋内退避・垂直避難 |
| | 平屋または2階建て | 1，2階 | 屋内退避不可 早めに避難施設へ |
| 0.5m〜3m（床上浸水） | 2階建て以上 | 2階以上 | 避難所へ避難（立ち退き避難）<br>逃げ遅れたら屋内退避・垂直避難 |
| | 平屋建て | 1階に居住 | 屋内退避不可 早めに避難施設へ |
| 0.5m未満（1階床下浸水） | 全ての建物 | | 避難所へ避難（立ち退き避難）<br>逃げ遅れたら屋内退避・垂直避難 |

**着色なし（浸水想定なし）** → **想定以上の降雨もあり得るので注意してください。**

**屋内退避・垂直避難の際の注意点**

水道や電気・ガス・トイレなどが3日〜1週間以上使えなくなることもあります。十分な準備と長期間孤立してしまうことの覚悟が必要です。

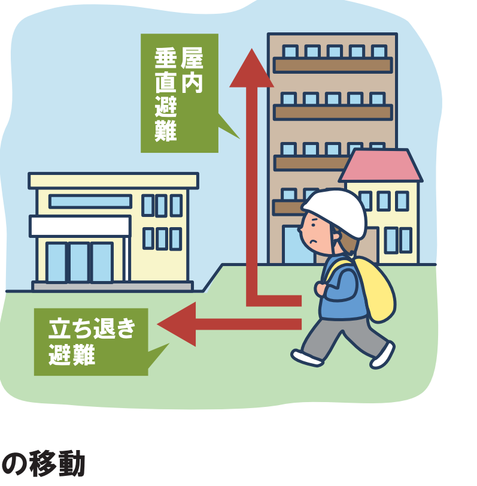


高い建物でも、浸水が及ぶ高さにとどまっていては危険です。建物の上層階など、浸水から安全に身を守れる場所へ避難しましょう。

### 避難行動のポイント

危険が近づいたらすぐに安全な避難所等に避難することが大切です（水平避難）。しかし、避難している最中に被害にあう可能性もあります。

下記の項目に一つでも当てはまる場合は無理に外に出ず、少しでも高いところに避難し、命を守る最低限の行動をとりましょう（垂直避難）。


屋内垂直避難
立ち退き避難

| | |
|---|---|
| **立ち退き避難** | ❶避難場所・避難所への移動<br>❷避難場所・避難所以外の安全な場所（親戚や友人の家等）への移動<br>❸近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動 |
| **屋内垂直避難** | ❹建物内のより安全な場所（高い場所など）への移動とその場所での待機 |

**立ち退き避難の前に、以下の項目をチェックしてみましょう。**

□ 夜間で避難路上の危険個所がわかりにくい。
□ 避難所までにひざ上以上（50cm以上）に浸水しているところを通らなければいけない。
□ 避難路に崩れそうな斜面がある。
□ 浸水は浅い（20cm程度）が、水の流れがはやい。
□ 避難路に蓋のない用水路があり、位置がわからない。

## 自宅外避難の心得

### 1 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な人、乳幼児などへ優先的に配布されますので、自らが十分な準備をすると安心です。非常持ち出し袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみましょう。

**■あまり重いと避難行動に支障がでるので、重すぎる場合は減らしましょう。**

**■水を注ぐだけで簡単にできる、比較的軽い乾燥食品などを用意しましょう。**

**■各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。**

**男性15kg 女性10kg** 程度が重さの目安です

**非常持ち出し袋**（リュックサックに入れておくもの）

□携帯ラジオ
□懐中電灯（予備の電池も）
□ろうそく（太くて安定のよいもの）
□救急薬品（ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解毒剤、かぜ薬、鎮痛剤、目薬、とげ抜きなど）
□非常食（カンパンなど）・飲料水
□生活用品（ライター、ナイフ、缶切り、ティッシュペーパー、ビニール袋など）
□衣類（下着、上着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなど）

**家族構成によって必要なもの**

□粉ミルク
□紙おむつ
□生理用品
□常備薬（持病のある方は忘れずに）
□高齢者や障がい者のための準備品（介護用品など）

**避難時の必需品**

□雨具（カッパ）
□手袋
□ヘルメット（防災ずきん）
□貴重品（預金通帳、健康保険証、免許証、住所録のコピーなど）
□現金（紙幣だけでなく、公衆電話用の10円硬貨も）
□洪水ハザードマップ（この冊子）

**あると便利なもの**

□毛布・寝袋
□カセットコンロ
□携帯電話充電器
□使い捨てカイロ
□割りばし
□床に敷くシート

### 2 避難先・避難ルートを確認しておきましょう

浸水に対して安全な避難先と避難ルートを、平時から家族や地域で確認しておきましょう。避難先は必ずしも市が準備した避難所である必要はありません。親戚宅、知人宅、職場なども避難先の選択肢になり得ます。

### 3 避難の方法を確認しておきましょう

自家用車での避難は、緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞を巻き起こしますのでやめましょう。どうしても自家用車での避難をしたい場合は、さらに早めの避難開始が重要です。

大雨や台風の接近により自宅から避難する時、持って行くべき物を確認しましょう。

避難所は身の安全を確保する場所です。避難に必要な物は自分で持ち込みましょう。

**台風などによる半日〜１日程度の避難の場合**

**■食べ物は必ず持っていきましょう！**

- ◦避難が必要な期間に自分が食べるだけの食料（おにぎり・弁当・パン・インスタント食品・缶詰・お菓子など）は、自分で持っていきましょう。
- ◦台風が近づく前に食料を買っておきましょう。
- ◦水分は多めに用意しておきましょう。

**■その他必要な物も確認しましょう！**

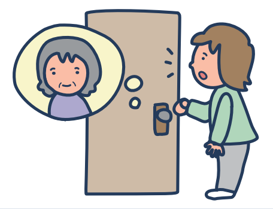
- ◦食料の他、自分に必要な物（寝袋、アイマスク・携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池・モバイルバッテリーなど）も持っていきましょう。
- ◦夜を明かさなければならない場合も考えて、睡眠を快適にするグッズの準備も検討しましょう。
- ◦持病をお持ちの方は、お薬を忘れずに！

### 4 早めの避難を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。市は降雨や河川水位などの情報をもとに避難勧告等の発令により避難を呼びかけますが、身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。避難する際には、避難所が開設されているかを確認してから避難しましょう。

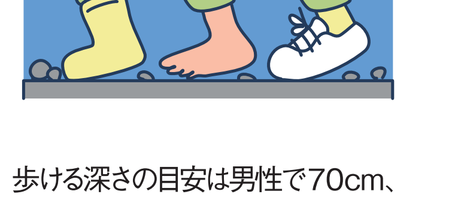
### 5 ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあったときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

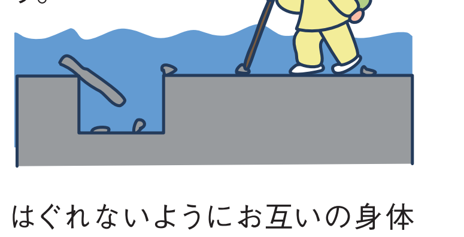


### 6 やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

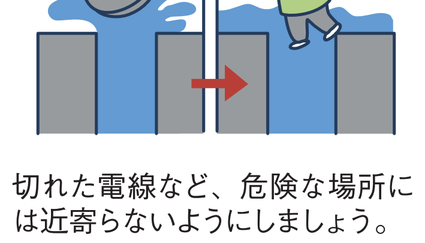
長靴や裸足は禁止です。運動靴をはきましょう。



長い棒をつえ代わりにして、水の中の障害物に注意しましょう。

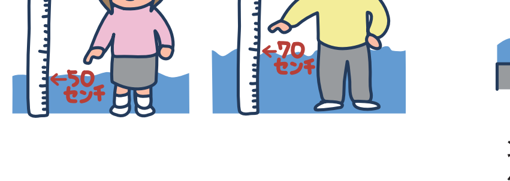


深い浸水だとマンホールに気づかず、吸い込まれてしまう場合があります。

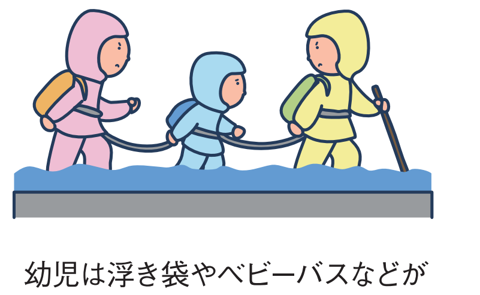


歩ける深さの目安は男性で70cm、女性で50cmまでです。それ以上は救助を待ちましょう。

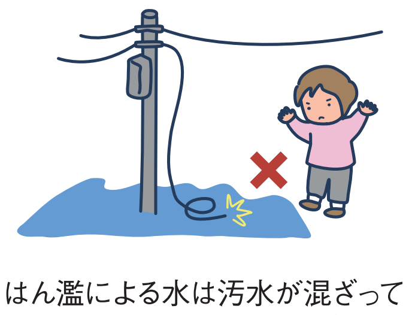
※水深が浅い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。



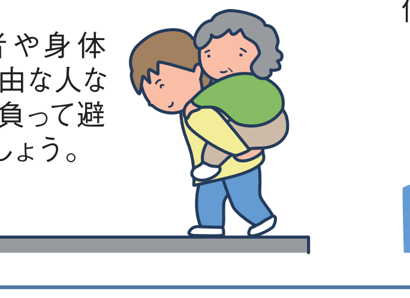
はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しましょう。



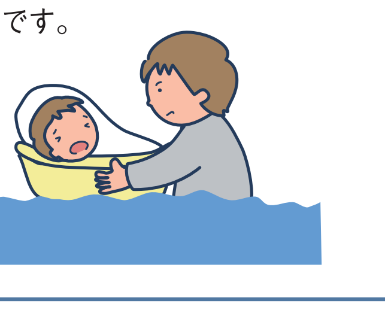
切れた電線など、危険な場所には近寄らないようにしましょう。



高齢者や身体の不自由な人などは背負って避難しましょう。



幼児は浮き袋やベビーバスなどが便利です。



はん濫による水は汚水が混ざっているので、むやみにさわらないようにしましょう。

### 7 市指定の避難所での注意

水害時に開設される市指定の避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することとなります。大声を出したり騒いだり他人が不快に感じるような言動は控えましょう。互いの気遣いが大切です。

ペットと同行避難する場合には、ケージなど必要な資材やペットフードはできる限り持参しましょう。また、避難所では他の避難者の迷惑とならないよう自分のペットの管理をしましょう。

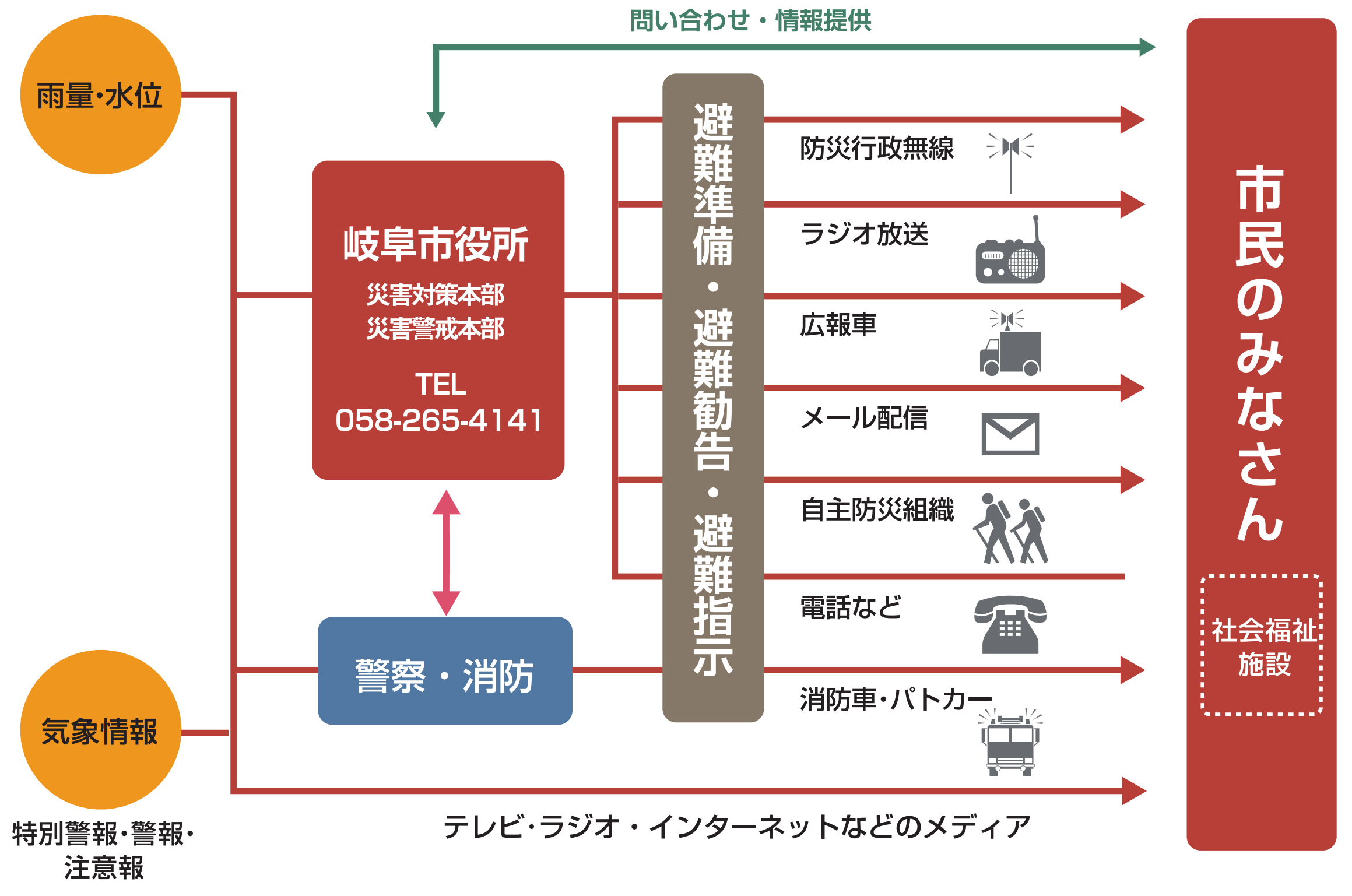
### 8 地域で協力を

高齢者や身体の不自由な人など、避難に時間を要する人については、避難準備・高齢者等避難開始などを参考にして早めに避難するようにしましょう。

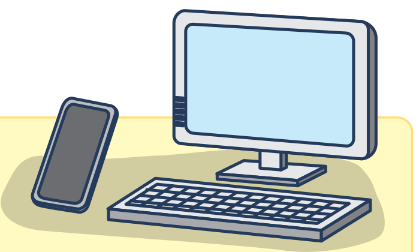
普段から地域で情報を交換し、いざというときには協力し合い、豪雨災害による犠牲を防ぎましょう。

## 情報の入手方法

### 岐阜市の災害時の情報伝達



### 気象予警報・河川状況などの情報



各予警報・雨量・河川水位・治水施設などの情報がインターネットや携帯電話からリアルタイムでどなたでもご覧になれます。

**■気象庁ホームページ**
**http://jma.go.jp**

**■岐阜県　川の防災情報**
**http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp**

**■岐阜市気象・災害等メール配信サービス**

岐阜市内に発表される気象情報、避難勧告などの避難情報、行政情報などをお手持ちの携帯電話やパソコンにメールを配信するサービスを行っています。

**災害情報配信サービス登録用QRコード**

**登録方法**

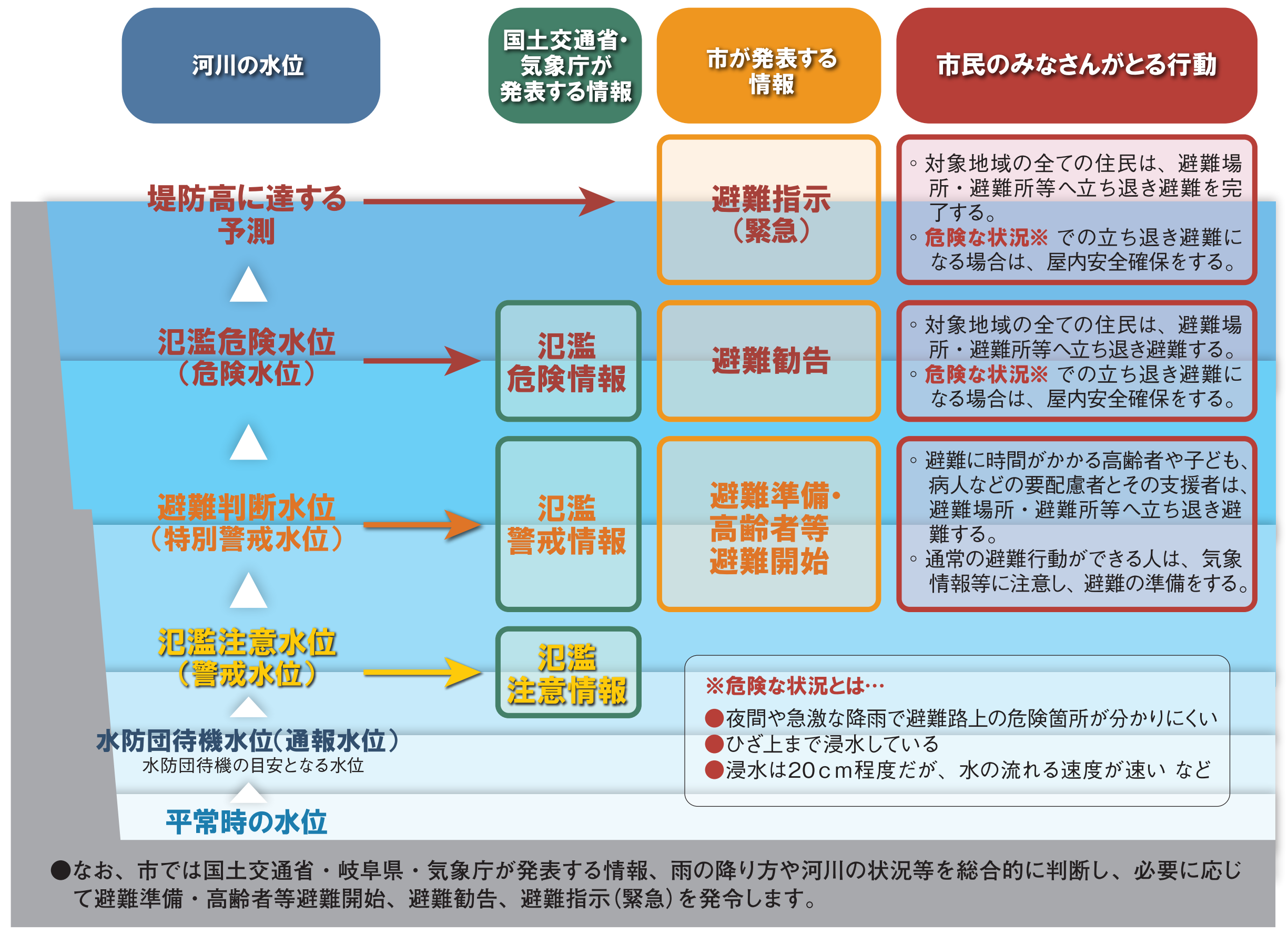
- ・左記 QR コード ® の読取り又は、gifucity@sg-m.jp に空メールを送信します。
- ・登録用URLが記載されたメール受信後、利用規約を確認いただき、「メール配信に同意する」ボタンを押します。
- ・受け取りたい情報を選択いただき、「入力内容を登録する」ボタンを押します。
- ・「本登録完了のお知らせ」メールが届いたら、登録は完了です。

※ご利用には、迷惑メール設定等の解除が必要な場合があります。

**■問合せ先　岐阜市　都市防災部　都市防災政策課　TEL058-265-4141（内線4142）**

## 避難の準備

### 避難情報と行動の種類



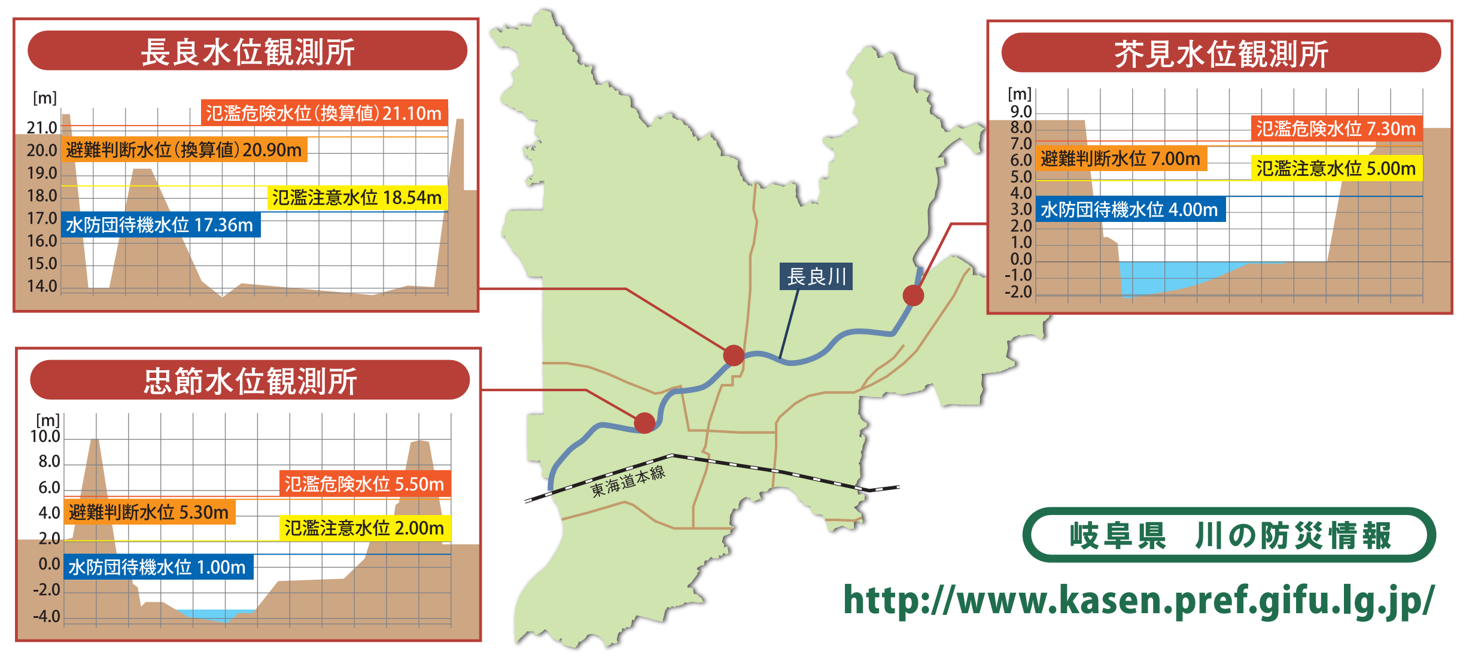
| 河川の水位 | 国土交通省・気象庁が発表する情報 | 市が発表する情報 | 市民のみなさんがとる行動 |
|---|---|---|---|
| 堤防高に達する予測 | | 避難指示（緊急） | ◦対象地域の全ての住民は、避難場所・避難所等へ立ち退き避難を完了する。<br>◦危険な状況※での立ち退き避難になる場合は、屋内安全確保をする。 |
| 氾濫危険水位（危険水位） | 氾濫危険情報 | 避難勧告 | ◦対象地域の全ての住民は、避難場所・避難所等へ立ち退き避難する。<br>◦危険な状況※での立ち退き避難になる場合は、屋内安全確保をする。 |
| 避難判断水位（特別警戒水位） | 氾濫警戒情報 | 避難準備・高齢者等避難開始 | ◦避難に時間がかかる高齢者や子ども、病人などの要配慮者とその支援者は、避難場所・避難所等へ立ち退き避難する。<br>◦通常の避難行動ができる人は、気象情報等に注意し、避難の準備をする。 |
| 氾濫注意水位（警戒水位） | 氾濫注意情報 | | |
| 水防団待機水位（通報水位）<br>水防団待機の目安となる水位 | | | |
| 平常時の水位 | | | |

**※危険な状況とは…**

- ●夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所が分かりにくい
- ●ひざ上まで浸水している
- ●浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い　など

●なお、市では国土交通省・岐阜県・気象庁が発表する情報、雨の降り方や河川の状況等を総合的に判断し、必要に応じて避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）を発令します。

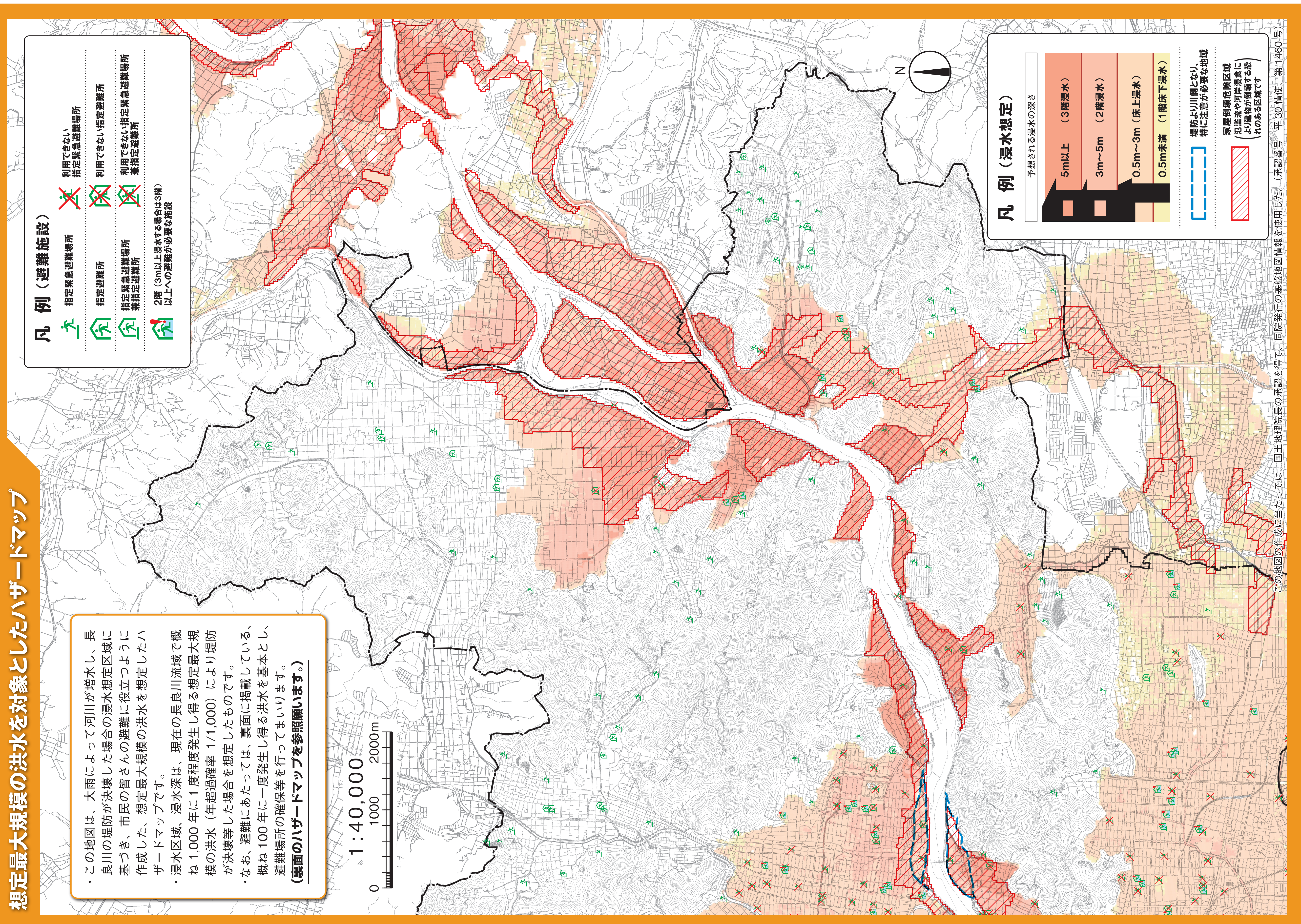
### 長良川の水位観測所と基準水位一覧



**岐阜県　川の防災情報**

**http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/**

## 想定最大規模の洪水を対象としたハザードマップ


N
凡例（避難施設）
指定緊急避難場所
利用できない指定緊急避難場所
指定避難所
利用できない指定避難所
指定緊急避難場所兼指定避難所
利用できない指定緊急避難場所兼指定避難所
2階（3m以上浸水する場合は3階）以上への避難が必要な施設
凡例（浸水想定）
予想される浸水の深さ
5m以上（3階浸水）
3m〜5m（2階浸水）
0.5m〜3m（床上浸水）
0.5m未満（1階床下浸水）
堤防より川側となり、特に注意が必要な地域
家屋倒壊危険区域（氾濫流や河岸浸食により建物が倒壊する恐れのある区域です）
1：40,000
0
1000
2000m

- ・この地図は、大雨によって河川が増水し、長良川の堤防が決壊した場合の浸水想定区域に基づき、市民の皆さんの避難に役立つように作成した、想定最大規模の洪水を想定したハザードマップです。
- ・浸水区域、浸水深は、現在の長良川流域で概ね1,000年に1度程度発生し得る想定最大規模の洪水（年超過確率 1/1,000）により堤防が決壊した場合等を想定したものです。
- ・なお、避難にあたっては、裏面に掲載している、概ね100年に一度発生し得る洪水を基本とし、避難場所の確保等を行ってまいります。

**（裏面のハザードマップを参照願います。）**

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第1460号）